



## BI ワークスペースユーザガイド

■ SAP BusinessObjects Business Intelligence platform 4.0

2011-04-14

## 著作権

© 2011 SAP AG. All rights reserved. SAP、R/3、SAP NetWeaver、Duet、PartnerEdge、ByDesign、SAP Business ByDesign、および本書に記載されたその他のSAP製品、サービス、ならびにそれぞれのロゴは、ドイツおよびその他の国々におけるSAP AGの商標または登録商標です。Business ObjectsおよびBusiness Objectsロゴ、BusinessObjects、Crystal Reports、Crystal Decisions、Web Intelligence、Xcelsius、および本書で引用されているその他のBusiness Objects製品、サービス、ならびにそれぞれのロゴは、米国およびその他の国々におけるBusiness Objects S.A.の商標または登録商標です。Business ObjectsはSAPのグループ企業です。本書に記載されたその他すべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。本書に記載されたデータは情報提供のみを目的として提供されています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。これらの文書の内容は、予告なしに変更されることがあります。また、これらの文書はSAP AGおよびその関連会社(「SAPグループ」)が情報提供のためにのみ提供するもので、いかなる種類の表明および保証を伴うものではなく、SAPグループは文書に関する誤記・脱落等の過失に対する責任を負うものではありません。SAPグループの製品およびサービスに対する唯一の保証は、当該製品およびサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。

2011-04-14

# 目次

第 1 章	SAP BusinessObjects BI ワークスペースへようこそ.....5
1.1	このドキュメントについて.....5
1.2	このドキュメントの対象読者.....5
1.3	概要.....5
第 2 章	BI ワークスペースの操作.....7
2.1	概要.....7
2.2	BI ワークスペースの作成.....8
2.3	BI ワークスペースのコピーと保存.....9
2.4	BI ワークスペースの名前の変更.....10
2.5	BI ワークスペースの編集.....10
2.5.1	BI ワークスペースへのタブおよびサブタブの追加.....11
2.5.2	BI ワークスペースタブまたはサブタブの名前の変更.....12
2.5.3	BI ワークスペースタブおよびサブタブの移動.....13
2.5.4	BI ワークスペースタブまたはサブタブの複製.....13
2.5.5	BI ワークスペースタブおよびサブタブのスクロール.....14
2.5.6	BI ワークスペースのタブまたはサブタブの削除.....14
2.5.7	BI ワークスペースのプロパティ.....14
2.5.8	BI ワークスペースへのセキュリティの追加.....15
2.5.9	BI ワークスペースでのレイアウトの変更.....16
2.5.10	BI ワークスペースのモジュールライブラリ.....20
2.6	BI ワークスペースの印刷.....22
2.7	BI ワークスペースの削除.....22
第 3 章	モジュールの使用.....23
3.1	概要.....23
3.2	モジュールの種類.....23
3.2.1	BI 起動パッドモジュール.....23
3.2.2	複合モジュール.....24
3.2.3	テキストモジュール.....24
3.2.4	Web ページモジュール.....25
3.2.5	BI ワークスペースタブの [ナビゲーション一覧] の使用.....25

3.2.6	ビューアモジュール.....	26
3.3	モジュールの作成および設定.....	28
3.3.1	モジュールの使用.....	28
3.3.2	モジュールのデータソース.....	32
3.3.3	BI ワークスペースでの Crystal レポートの表示方法の設定.....	32
3.3.4	BI ワークスペースでの Web Intelligence レポートの表示方法の設定.....	34
3.3.5	最新のレポートインスタンスの表示.....	35
3.3.6	モジュールとドキュメントのリンク.....	35
3.3.7	コンテンツリンク.....	35
付録 A	より詳しい情報.....	39
	索引.....	41

# SAP BusinessObjects BI ワークスペースへようこそ

## 1.1 このドキュメントについて

このドキュメントでは、SAP BusinessObjects BI ワークスペースの使用に関する情報と手順について説明します。BI ワークスペースは、BI 起動パッド アプリケーション内で機能するよう統合された Web アプリケーションです。BI 起動パッドは、SAP BusinessObjects Business Intelligence platform のオブジェクトを操作するためのインタフェースを提供します。Crystal レポート、BI ワークスペース、Analysis edition for OLAP、Web Intelligence ドキュメント、および Dashboard Design モデルなどの異なる種類のオブジェクト形式のさまざまなデータソースが、SAP BusinessObjects Business Intelligence platform からのプラグインコンポーネントとしてアプリケーションにデプロイされ統合されます。このドキュメントでは、BI ワークスペースの新機能と機能強化に関する情報、BI ワークスペースやモジュールの種類や作成方法、また BI ワークスペースを使用したさまざまなデータソース間でのコンテンツのリンク方法について説明します。

## 1.2 このドキュメントの対象読者

このドキュメントは、ビジネスレポートの作成者、プロフェッショナルレポートの作成者、または BI ワークスペース管理者など、Microsoft Windows、Unix または Linux オペレーティングシステム上で SAP BusinessObjects Business Intelligence platform および BI ワークスペースアプリケーションを使用するユーザを対象としています。データを深く分析し、効果的な統計を得るには、レポート生成、他の種類のデータソース、さまざまなコンテンツリンク方法に対する知識が必要です。

製品の詳細については、『BI ワークスペース作成入門ガイド』および『SAP BusinessObjects BI ワークスペースオンラインヘルプガイド』を参照してください。

## 1.3 概要

BI ワークスペースは、モジュールと BI ワークスペースを使用して、事業活動や業績を管理、把握、監視、追跡するための SAP BusinessObjects Business Intelligence platform の BI ワークスペースおよびモジュールアプリケーションです。会社用 BI ワークスペースを管理することにより、組織は基本となる分析に対する洞察を得て、条件の変化に対応してビジネスルールを変更することができます。BI ワークスペースは、クリティカルな業務分野を監視するための一貫性のある最新の方法を提供します。また、タブベースのナビゲーションとページ

作成機能をすべてのユーザに提供します。プログラミングすることなくアプリケーションを簡単に構築でき、既存のアプリケーションをポイントクリックするだけでカスタマイズできます。

BI ワークスペースを使用することで、次の作業を実行できます。

- ・ Web ベースのアプリケーションメニューと階層を構成します。モジュールコンポーネントを選択し、それを必要なページにドロップすることでアプリケーションを構築します。
- ・ 定義済みモジュールテンプレートカタログからテンプレートを選択します。
- ・ これらの再利用可能な構築済みモジュールテンプレートを、さまざまなビジネスシナリオに適用します。
- ・ アプリケーションをカスタマイズします。

BI ワークスペースでは、コンテンツのルック & フィールを設定するためのシンプルな Web インタフェースが提供されています。Crystal レポート、Web Intelligence ドキュメント、Dashboard Design モデルなどのアプリケーションに既存のコンテンツを簡単に統合できます。ユーザは、管理上のコントロールを維持しながら、独自のアプリケーションビューを作成できます。

このドキュメンテーションの目的は次のとおりです。

- ・ BI ワークスペースの基本的な機能を理解する
- ・ さまざまな種類の BI ワークスペースとモジュールを理解する
- ・ BI ワークスペースおよびモジュールを作成する
- ・ モジュール間のコンテンツリンクについて学習する

## 注

Performance Manager、Set Analysis、Predictive Analysis、Process Control コンポーネント、および、ダッシュボードとアナリティクスのセットアップは削除されました。トレースオプションは、それぞれセントラル管理コンソール (CMC) サーバ概要セクションと統合トレースセクションに移動されました。

サーバ設定セットアップ全体と他のパラメータは、各サーバの CMC に移動されました。

従来の [My InfoView] オブジェクトは、BI ワークスペースに置き換えられました。BI ワークスペースを作成して、[お気に入り] に保存し、BI 起動バッドの個人用ビューを作成するためにデフォルトのホームタブに設定することができます。旧バージョンのリリースの My InfoView レイアウトページには、ハイパーリンクとして処理されたヘッダおよびフッタがありました。

現在のリリースへの移行後、ヘッダキャプションはモジュールのタイトルバーに表示されるようになりました。このヘッダキャプションはハイパーリンクではなく、フッタは表示されません。

サーバ設定、概要、トレースの詳細については、『SAP BusinessObjects Business Intelligence platform 管理者ガイド』、『SAP BusinessObjects Business Intelligence platform 4.0 インストールガイド』、『SAP BusinessObjects Business Intelligence platform 4.0 デプロイメント計画ガイド』、および『SAP BusinessObjects Business Intelligence platform ユーザーズガイド ▪ 』を参照してください。

## 関連項目

- ・ [7 ページの概要](#)
- ・ [8 ページのBI ワークスペースの作成](#)
- ・ [28 ページのモジュールの作成](#)

## BI ワークスペースの操作

### 2.1 概要

BI ワークスペースでは、Web Intelligence ドキュメント、ハイパーリンク、Crystal レポート、非ビジュアルモジュールなどのさまざまな SAP BusinessObjects Business Intelligence platform データソース、または、URL を介した Web ページなどの外部ページを単一のビューに整理および表示することができます。複雑なデータの分析や管理を効果的に行え、組織全体で情報を共有できます。BI ワークスペースを使用することで、組織の目標に対する可視性が向上し、組織の業績と成長を監視できます。BI ワークスペースでは、毎日追跡する必要のあるすべてのビジネス要素を見られる単一のビューと、ページコンポーネントが互いに通信して情報を交換できる Interportlet Communication 機能を提供します。

独自のレポートやカテゴリのポートフォリオを構築したり、1 つ以上の BI ワークスペースを作成し、必要に応じて表示できます。

BI ワークスペースには、次の種類のオブジェクトを含めることができます。

- ・ モジュール
- ・ Web Intelligence ドキュメント、SAP BusinessObjects Analysis, edition for OLAP ドキュメント、および Dashboard Design モデル
- ・ Crystal レポート
- ・ Adobe Reader PDF ドキュメント
- ・ Microsoft Excel スプレッドシート
- ・ Microsoft Word 文書
- ・ テキストファイル
- ・ リッチテキスト (rtf) ファイル
- ・ Microsoft PowerPoint プレゼンテーション
- ・ ハイパーリンク

カスタマイズと表示のために作成した BI ワークスペースは、[ドキュメント] タブにあるさまざまなタイプのフォルダに保存できます。

- ・ パブリックフォルダ、お気に入り、および個人用カテゴリ
  - ・ [パブリックフォルダ] に保存された BI ワークスペースには、BI ワークスペースと、表示を共有するために作成されたモジュールが含まれます。これらの BI ワークスペースは、すべてのユーザがアクセスおよび表示できます。
  - ・ [お気に入り] または [個人用カテゴリ] に保存された BI ワークスペースには、BI ワークスペースと、個人的に表示するために作成されたモジュールが含まれます。ここには、個人でパラメータの拡張および変更ができるモジュールに関する情報が保存されています。これらの BI ワークスペースは、一部のユー

ザのみがアクセスおよび表示できます。[パブリックフォルダ]、[個人用カテゴリ] のどちらかに保存されていても、BI ワークスペースには 1 つ以上のタブとサブタブが含まれます。

たとえば、頻繁にアクセスする Web サイト、Crystal レポート、または Web Intelligence レポートを含む BI ワークスペースを作成できます。この BI ワークスペースは、[個人用カテゴリ] または [お気に入り] フォルダに保存でき、デフォルト表示として設定することができます。また、ナビゲーションパネルにあるリンクをクリックして表示することもできます。BI ワークスペースのデフォルトの場所は、ユーザのお気に入りフォルダです。

#### 注

BI ワークスペースを作成するための、[BI ワークスペースの作成] と呼ばれる共通の BI ワークスペース作成機能が実装されています。[マイダッシュボード] オプションはこのリリースでは提供されておらず、BI ワークスペース構造に変換されています。[マイダッシュボード] InfoObject は、パブリックフォルダに保存されている BI ワークスペースと整合性のある構造に変換されています。BI ワークスペースは、あらゆるカテゴリの個人用カテゴリまたはパブリックフォルダに保存できます。

#### 関連項目

- ・ 8 ページの [BI ワークスペースの作成](#)
- ・ 10 ページの [BI ワークスペースの編集](#)
- ・ 22 ページの [BI ワークスペースの削除](#)

## 2.2 BI ワークスペースの作成

BI ワークスペースには、分析されたデータを基にした、有用な情報となるコンテンツを含めることができます。BI ワークスペースは戦略の定義にも役立ちます。BI ワークスペースおよび複合モジュールは、BI 起動パッド内でのみ作成および編集することができます。ユーザが権限により編集が可能でも、これには OpenDocument および PIK も含まれます。BI 起動パッドのホームタブは読み取り専用です。ホームページで選択された BI ワークスペースまたは複合モジュールは編集できません。

BI ワークスペースを作成する

#### 1 次の情報を収集します。

- ・ BI ワークスペースまたは BI ワークスペースタブで伝達する情報の一覧。会社用 BI ワークスペースを作成する場合、対象ユーザを分析して必要な情報を決定します。多数の情報がある場合、情報のカテゴリを作成し、カテゴリごとに BI ワークスペースにタブを作成することを検討します。
- ・ 使用するコンテンツの一覧。モジュールには、Web Intelligence レポート、Dashboard Design モデル、または Crystal レポートを含めることができます。
- ・ BI ワークスペースタブおよびサブタブにおけるモジュールの整理方法の概要。必ずしも情報が多ければ良いということはありません。雑然とした、情報過多の BI ワークスペースは、非生産的です。
- ・ 会社用 BI ワークスペースに関するデータセキュリティ上の問題の一览。たとえば、対象ユーザに適切なデータの種類、ユーザに表示するデータの詳細度などです。

#### 注

BI ワークスペースの新しいインタフェースでは、BI ワークスペースに移行されたため、[My InfoView] オプションを使用して BI ワークスペースを作成することはできません。



- 2 BI 起動パッドでは、次の操作を実行して BI ワークスペースを作成します。

- ・ [アプリケーション] > [BI ワークスペース] をクリックします。

**注**

パブリックフォルダにアクセスできるすべてのユーザに、BI ワークスペースへの変更内容が表示されます。BI ワークスペースにモジュールを追加するなど、必要な変更を行います。

- 3 [保存] または [名前を付けて保存] をクリックし、新しい BI ワークスペースの名前と保存場所を入力して [OK] をクリックします。

[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。

- 4 BI ワークスペースを保存する場所を選択し、カテゴリを割り当てて、[OK] をクリックします。

**注**

BI ワークスペースを保存するフォルダを指定します。BI ワークスペースを [個人用カテゴリ] または [パブリックフォルダ] に保存します。

- 5 BI ワークスペースを編集するには、[BI ワークスペースの編集] をクリックします。

BI ワークスペースが編集モードで開きます。

**関連項目**

- ・ 10 ページの [BI ワークスペースの編集](#)
- ・ 7 ページの [概要](#)
- ・ 11 ページの [BI ワークスペースへのタブおよびサブタブの追加](#)
- ・ 14 ページの [BI ワークスペースのプロパティ](#)

## 2.3 BI ワークスペースのコピーと保存

BI ワークスペースのツールバーで提供されているメニューオプションを使用して、新しい BI ワークスペースを保存するか、または既存の BI ワークスペースを開くことができます。[名前を付けて保存] オプションは、新しい BI ワークスペースを保存するほかに、コピー機能も実行します。これにより、既存の BI ワークスペースに新しい名前を付けて保存することもできます。

**注**

BI ワークスペースを保存しても、元の、または既存の BI ワークスペースは変更されません。[名前を付けて保存] オプションでは、新しい BI ワークスペースの名前を入力するダイアログボックスが表示されます。入力した新しい名前が個人用カテゴリまたはパブリックフォルダに存在する場合は、選択した場所にすでに BI ワークスペースが存在することを伝えるメッセージが表示され、BI ワークスペースは保存できません。重複する名前の BI ワークスペースがパブリックフォルダ、お気に入り、または個人用カテゴリに存在しない場合は、選択した場所に BI ワークスペースを保存できます。

## 2.4 BI ワークスペースの名前の変更

[ドキュメント] タブから、BI ワークスペースの名前を変更できます。

BI ワークスペースの名前を変更する

- 1 [ドキュメント] タブで、左枠の [パブリックフォルダ] または [お気に入り] を参照して、名前を変更する BI ワークスペースを選択します。
- 2 BI ワークスペースを右クリックして、[プロパティ] を選択します。  
BI ワークスペースの [プロパティ] ダイアログボックスが表示されます。
- 3 [一般プロパティ] ページの [タイトル] フィールドに BI ワークスペースの新しい名前を入力します。
- 4 [保存して閉じる] をクリックします。

### 注

[プロパティ] ダイアログボックスの [保存] および [X] をクリックすることもできます。

BI ワークスペースが新しい名前で保存されます。

## 2.5 BI ワークスペースの編集

BI ワークスペースツールバーにあるメニューオプションを使用して、編集モードの BI ワークスペースをカスタマイズできます。

BI ワークスペースツールバーを使用して BI ワークスペースを編集する

- 1 [パブリックフォルダ]、[個人用カテゴリ] から BI ワークスペースを選択するか、[ドキュメント] でカテゴリを参照します。  
選択した BI ワークスペースが開きます。
- 2 [BI ワークスペースの編集] をクリックします。  
メニューオプションに BI ワークスペースの編集ツールバーとモジュールライブラリが表示されます。

### 注

管理者は、CMC 内の特定の BI ワークスペースを編集する権限を割り当てます。BI ワークスペースを編集するには適切な編集権限が必要です。パブリックフォルダに保存された BI ワークスペースを編集すると、この BI ワークスペースを表示しているユーザすべてに変更内容が表示されます。個人用カテゴリに保存された BI ワークスペースを編集すると、変更内容は変更したユーザにのみ表示されます。

- 3 プロパティを設定するには、BI ワークスペース、タブ、またはサブタブのタイトルの隣にある矢印をクリックし、[プロパティ] を選択します。  
[プロパティ] ウィンドウが表示されます。
- 4 レイアウトスタイルを選択して [OK] をクリックし、[プロパティ] ウィンドウを閉じます。








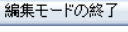
**注**

BI ワークスペースプロパティから選択したレイアウトスタイルは、BI ワークスペース内のタブとサブタブを含めた BI ワークスペース全体に適用されます。ただし、タブまたはサブタブプロパティウィンドウから選択したレイアウトスタイルは、特定のタブまたはサブタブに適用され、BI ワークスペース全体には適用されません。

- 5 [モジュールライブラリ] でモジュールオブジェクトを選択し、レイアウト領域にドラッグします。使用する BI ワークスペースデザインに応じてサイズを変更し、適応させます。

**注**

モジュールライブラリからドラッグアンドドロップしたモジュールと、BI ワークスペースタブでの編集内容は、BI ワークスペースに組み込まれたオブジェクトとして保存されます。[アプリケーション] > [モジュール] オプションを使用して作成されたテキストと複合モジュールは、CMS 内に独立した InfoObject として保存されます。

- 6 BI ワークスペースにタブまたはサブタブを追加します。
- 7 BI ワークスペースツールバーの次のいずれかをクリックします。
  - ・ 新しい BI ワークスペースを作成する場合は、[新規] 。
  - ・ [パブリックフォルダ] または [お気に入り] カテゴリに保存されている既存の BI ワークスペースを開く場合は、[開く] 。
  - ・ BI ワークスペースに加えた最新の変更を適用する場合は、[保存] 。
  - ・ 新しい BI ワークスペースを [パブリックフォルダ] または [お気に入り] カテゴリに保存する場合は、[名前を付けて保存] 。
  - ・ モジュールライブラリを開く場合は、[モジュールライブラリの表示] 。
  - ・ BI ワークスペースに入力したすべての変更をキャンセルし、以前に保存したバージョンに戻す場合は、[変更を元に戻す] 。
  - ・ モジュール間のコンテンツリンクを有効にする場合は、[コンテンツリンク レイアウト] 。このオプションは、ボタンではなくリンクとして提供されています。
  - ・ 編集モードを終了する場合は、[編集モードの終了] 。変更を保存していない場合、このアクションによって最後の保存以降に行った変更がキャンセルされます。

**注**

編集モードの終了を選択すると、BI ワークスペースへの変更を保存するかキャンセルするかをたずねる [編集モードを終了しようとしています。保存しますか?] ダイアログボックスが表示されます。

**関連項目**

- ・ 11 ページの [BI ワークスペースへのタブおよびサブタブの追加](#)
- ・ 16 ページの [BI ワークスペースでのレイアウトの変更](#)
- ・ 8 ページの [BI ワークスペースの作成](#)
- ・ 14 ページの [BI ワークスペースのプロパティ](#)

## 2.5.1 BI ワークスペースへのタブおよびサブタブの追加

すべてのユーザがアクセスできるパブリックフォルダと、本人だけがアクセスできるお気に入りまたは個人用カテゴリに保存した BI ワークスペースでタブまたはサブタブを作成できます。

BI ワークスペースにタブおよびサブタブを追加する

- 1 パブリックフォルダまたは個人用カテゴリのいずれかから、既存の BI ワークスペースを選択するか、新しく BI ワークスペースを作成します。  
BI ワークスペースが開きます。
- 2 [BI ワークスペースの編集] をクリックします。  
BI ワークスペースが編集モードで開きます。
- 3 BI ワークスペースでタブを作成するには、[新しいタブの追加] をクリックします。  
カーソルが表示されます。
- 4 BI ワークスペースでサブタブを作成するには、[新しいサブタブの追加] をクリックします。  
カーソルが表示されます。
- 5 名前を入力し、Enter キーを押します。  
名前は、編集モードでタブの名前の隣の矢印をクリックし、[名前の変更] を選択することによっていつでも変更できます。
- 6 タブまたはサブタブを設定します。
- 7 [保存] をクリックして編集内容を保存します。
- 8 BI ワークスペースの編集が終わったら、[編集モードの終了] をクリックします。  
複数のタブまたはサブタブがある場合のみ、スクロールボタンが表示されます。スクロールボタンを使用して、タブとサブタブを切り替えたり、作成したタブまたはサブタブの一覧を表示したりできます。BI ワークスペースツールバーで [保存] をクリックすると、BI ワークスペースが保存されます。ただし、タブまたはサブタブを切り替えるときには、変更が保持されるので、[保存] をクリックする必要はありません。

関連項目

- ・ 10 ページの [BI ワークスペースの編集](#)
- ・ 20 ページの [BI ワークスペースのモジュールライブラリ](#)

## 2.5.2 BI ワークスペースタブまたはサブタブの名前の変更

BI ワークスペースタブおよびサブタブは、BI ワークスペースのツールバーに提供されているオプションを使用して名前を変更できます。

BI ワークスペースタブまたはサブタブの名前を変更する

- 1 BI ワークスペースから、編集するタブまたはサブタブを選択します。
- 2 タブまたはサブタブタイトルの横にある矢印をクリックします。
- 3 メニューから [名前の変更] を選択します。  
名前のフィールドがアクティブになります。

- 4 新しい名前を入力し、Enter キーを押します。  
タブまたはサブタブは新しい名前で作成されます。

### 2.5.3 BI ワークスペースタブおよびサブタブの移動

BI ワークスペースタブおよびサブタブを移動する

- ・ BI ワークスペースから、編集するタブやサブタブを選択し、新しい位置にドラッグします。

#### 注

サブタブを別のタブに移動するには、BI ワークスペースタブにドラッグアンドドロップします。

タブまたはサブタブが、BI ワークスペースツールバーの新しい位置に配置されます。

### 2.5.4 BI ワークスペースタブまたはサブタブの複製

既存の BI ワークスペースのタブまたはサブタブを複製して、既存の BI ワークスペースタブと類似した新しい BI ワークスペースタブを作成できます。また、コピーした BI ワークスペースタブまたはサブタブの名前を変更したり修正して作成することもできます。

たとえば、標準的な会社用 BI ワークスペースの [ようこそ] タブを作成して、会社のロゴ、ドキュメント、一般的な指標を掲載することができます。

#### 注

BI ワークスペースのタブおよびサブタブを複製すると、BI ワークスペースに含まれるすべてのモジュールもコピーされます。複製されたタブに含まれるサブタブの階層もコピーされます。

BI ワークスペースタブまたはサブタブを複製する

- 1 複製する BI ワークスペースタブまたはサブタブを選択して、タイトルの横にある矢印をクリックし、[複製] を選択します。

既存のオブジェクトの右に、オブジェクトの複製が表示されます。末尾に編集番号が付いたタイトルも表示されます。たとえば、「売り上げ」タブの複製を作成した場合、複製のタイトルは「売り上げ (1)」です。

- 2 必要に応じて、タブまたはサブタブの名前を変更します。

複製されたタブまたはサブタブの付いた BI ワークスペースが表示されます。

#### 注


モジュールライブラリの [BI ワークスペース] カテゴリの BI ワークスペースオブジェクトを使用して、BI ワークスペースを再作成できます。項目を選択し、BI ワークスペースレイアウトにドラッグアンドドロップします。

関連項目


- ・ 12 ページの [BI ワークスペースタブまたはサブタブの名前の変更](#)
- ・ 20 ページの [BI ワークスペースのモジュールライブラリ](#)

## 2.5.5 BI ワークスペースタブおよびサブタブのスクロール

BI ワークスペースタブおよびサブタブをスクロールする

- 1 BI ワークスペースから、編集するタブまたはサブタブを選択します。
- 2 BI ワークスペースツールバーの  をクリックすると、BI ワークスペースのタブおよびサブタブをスクロールできます。

### 注

 アイコンをクリックしてさまざまなタブおよびサブタブ間を移動したり、ドロップダウンリストをクリックしてタブおよびサブタブの一覧全体を表示できます。

## 2.5.6 BI ワークスペースのタブまたはサブタブの削除

パブリックフォルダおよび個人用カテゴリに保存された BI ワークスペースで作成されたタブおよびサブタブを削除できます。

BI ワークスペースのタブまたはサブタブを削除する

- 1 BI ワークスペースで、削除するタブまたはサブタブを選択します。
  - 2 削除するタブまたはサブタブの横にある矢印をクリックし、[削除] を選択します。
  - 3 [タブの削除] ウィンドウで [はい] をクリックします。
- 削除するよう選択されたタブまたはサブタブが削除されます。

## 2.5.7 BI ワークスペースのプロパティ

BI ワークスペースの編集モードで BI ワークスペースタブまたはサブタブのプロパティメニューを表示するには、BI ワークスペースタブまたはサブタブのタイトルの隣にある矢印をクリックします。次のプロパティを設定します。

- ・ ヘルプ URL  
デフォルトのヘルプ URL をテキストボックスに入力するか貼り付けます。
- ・ スタイルシート  
BI ワークスペースのスタイルシートを選択できます。BI 起動パッドの基本設定でデフォルトオプションを設定します。
- ・ BI ワークスペースのスタイルは、BI 起動パッドの基本設定で選択したスタイルシートから継承されます。BI ワークスペースサブタブのスタイルは、親の BI ワークスペースタブから継承されます。

## 2.5.8 BI ワークスペースへのセキュリティの追加

パブリックフォルダに保存されている BI ワークスペースは、大規模コミュニティ内や特定のグループ間で、重要な情報を共有します。これらの BI ワークスペースは、情報の共有に使用できます。

業務上の守秘義務や他の理由により複数のユーザと共有できないパブリック BI ワークスペースに、追加のセキュリティオプションを設定できます。SAP BusinessObjects Business Intelligence platform セントラル管理コンソール (CMC) を使用して、あらゆる BI ワークスペースのセキュリティルールを設定できます。

会社用 BI ワークスペース内のデータへのアクセスは、次の方法で管理できます。

- ・ フォルダレベル: BI ワークスペースは BI 起動パッドの [パブリックフォルダ] に保存されます。管理者は、フォルダのアクセス設定、または各ユーザやユーザグループのアカウント設定をセントラル管理コンソール (CMC) で行うことで、フォルダへのアクセスを制限できます。
- ・ ユーザ権限: 特定の編集権限を持つユーザのみが BI ワークスペースを編集できます。

CMC を使って BI ワークスペースにセキュリティ機能を追加する

- 1 SAP BusinessObjects Business Intelligence platform セントラル管理コンソール (CMC) で、フォルダビューから BI ワークスペースの一覧を展開し、BI ワークスペースを選択します。
- 2 セキュリティオプションを設定する [BI ワークスペース] を選択します。
- 3 BI ワークスペースを右クリックして、[ユーザセキュリティ] を選択します。  
[ユーザセキュリティ] ウィンドウが開きます。
- 4 [主体の追加] をクリックします。  
[主体の追加] ウィンドウが開き、利用可能なユーザとグループの一覧が表示されます。
- 5 [利用可能なユーザ/グループ] 領域からユーザを選択し、[>] 矢印を使用してユーザを [選択されたユーザ/グループ] 領域に移動します。
- 6 [セキュリティを追加して割り当てる] をクリックします。  
[セキュリティの割り当て] ウィンドウが開き、使用できるアクセスレベルが表示されます。
- 7 [利用可能なアクセスレベル] セクションの次のセキュリティオプションから 1 つを選択し、[>] 矢印をクリックします。

タイトル	説明
フルコントロール	フルアクセスの許可
スケジュール	オブジェクトに対する表示権限、コンテンツオブジェクトのオンデマンド表示を許可する
表示	オブジェクトに対する表示権限を許可する
オンデマンド表示	オブジェクトに対する表示権限、コンテンツオブジェクトのオンデマンド表示を許可する

選択したアクセスレベルが [割り当てられたアクセスレベル] に移動されます。

- 8 [適用] をクリックし、[OK] をクリックします。  
[ユーザセキュリティ] ウィンドウが開き、選択されたアクセスレベルが [主体の追加] ページに表示されます。
- 9 [閉じる] をクリックして、CMC のフォルダビューに戻ります。

**注**

表示アクセスレベルを選択すると、ユーザが選択した BI ワークスペースに [BI ワークスペースの編集] ボタンは表示されません。

**注**

BI ワークスペースのアクセス権の設定の詳細については、『SAP BusinessObjects Business Intelligence platform 管理者ガイド』の『アクセス権に関する付録』の項目を参照してください。

## 2.5.9 BI ワークスペースでのレイアウトの変更

個人用カテゴリまたはパブリックフォルダに保存された BI ワークスペース、BI ワークスペースで作成されたタブまたはサブタブのレイアウトを変更できます。

BI ワークスペースのレイアウトを変更する

- ・ 編集する BI ワークスペースで、次の手順でレイアウトスタイルを選択します。
  - ・ 特定のレイアウト書式を使用せずに BI ワークスペースにオブジェクトを配置するには、[自由形式] レイアウトを選択します。
  - ・ 定義済みのレイアウトを使用する場合は、[テンプレート] レイアウトを使用します。行、列、または行と列のレイアウトを選択できます。
  - ・ 列構造型の BI ワークスペースを構築する場合は、[列] レイアウトを選択します。

**注**

モジュールを含む BI ワークスペースのレイアウトを変更すると、新しいレイアウトモードに合わせてモジュールが再配置されます。

**関連項目**

- ・ 10 ページの [BI ワークスペースの編集](#)
- ・ 16 ページの [BI ワークスペースモジュールの表示オプションの設定](#)
- ・ 17 ページの [自由形式レイアウトモードでの BI ワークスペースまたは複合モジュールの操作](#)
- ・ 18 ページの [テンプレートレイアウトモードでの BI ワークスペースの操作](#)

### 2.5.9.1 BI ワークスペースモジュールの表示オプションの設定

BI ワークスペースの表示オプションを設定する

- 1 BI ワークスペースタブまたはサブタブを選択し、[BI ワークスペースの編集] をクリックします。



- 2 編集する BI ワークスペースモジュールのタイトルバーのコンテキストメニューで、[編集] をクリックします。
- 3 [レイアウト] タブを選択します。
- 4 次のオプションから選択します。

オプション	説明
タブ内のウィンドウ	このオプションを有効にすると、モジュールがオブジェクトとしてタブ内に表示されます。
リンクとして表示 (名前だけを表示)	<p>このオプションを有効にすると、モジュールがリンクオブジェクトとして表示され、クリックすると新しいタブに表示されます。</p> <p>このオプションを選択すると、[ウィンドウの罫線を表示] オプションを使用できなくなります。</p> <p><b>注</b> [ビューア] モジュールを含む BI ワークスペース内のリンクをクリックすると、リンク先が [ビューア] に表示されます。</p>
ウィンドウの罫線を表示	このオプションを有効にすると、モジュールを囲む罫線が追加されます。

- 5 [OK] をクリックして設定を保存し、BI ワークスペースレイアウトに戻ります。

### 2.5.9.2 自由形式レイアウトモードでの BI ワークスペースまたは複合モジュールの操作

[自由形式] レイアウトモードでは、特定のレイアウト書式を使用せずに、BI ワークスペースのタブやサブタブ、または複合モジュールにオブジェクトを配置できます。[自由形式] モードでは、グリッドオプションを使用してオブジェクトを整列することができます。

[自由形式] レイアウトモードで BI ワークスペースを変更する

- 1 BI ワークスペースまたは複合モジュールの編集モードで、[レイアウト] 一覧から [自由形式] を選択します。空白のレイアウト領域に [モジュールライブラリ] が表示されます。[ライブラリ] をクリックすると、[モジュールライブラリ] の表示/非表示を切り替えられます。

#### 注

別のレイアウトモードから [自由形式] モードに切り替えた場合、レイアウト領域内のオブジェクトは元の位置に表示されます。

- 2 グリッドを有効にするには、[グリッドサイズ] ドロップダウンリストの次のグリッドサイズの中から 1 つを選択します。
  - ・ 小
  - ・ 中

- ・ 大

グリッドサイズを選択すると、レイアウト領域にグリッドラインが表示されます。グリッドを表示しない場合は、[なし] をクリックします。

- 3 [グリッドに配置] を有効にすると、レイアウト領域のオブジェクトがグリッドラインに配置されます。
- 4 オブジェクトを選択するには、[モジュールライブラリ] からレイアウト領域にオブジェクトをドラッグします。オブジェクトは、サイズを変更したり、移動したりできます。
- 5 レイアウトに関する操作を終了したら、次の操作を実行します。
  - ・ BI ワークスペースタブまたはサブタブを作成する場合、[保存] をクリックします。

#### 注

プロセスの任意の時点で、最終保存操作以降に行った BI ワークスペースの変更を保持しないことにした場合、[変更を元に戻す] をクリックします。BI ワークスペースは、変更を反映しない編集モードで表示されます。

- ・ 複合モジュールを作成する場合、[OK] をクリックします。

#### 関連項目

- ・ 20 ページの [BI ワークスペースのモジュールライブラリ](#)
- ・ 11 ページの [BI ワークスペースへのタブおよびサブタブの追加](#)
- ・ 16 ページの [BI ワークスペースモジュールの表示オプションの設定](#)

### 2.5.9.3 テンプレートレイアウトモードでの BI ワークスペースの操作

テンプレートレイアウトモードには、BI ワークスペースオブジェクトの複数のレイアウト書式が用意されています。

[テンプレート] レイアウトモードで BI ワークスペースを変更する

- 1 BI ワークスペースの編集モードで、[レイアウト] 一覧から [テンプレート] を選択します。
- 2 [定義済みのテンプレート] 一覧からテンプレートを選択します。

#### 注

別のモードから [テンプレート] に切り替えると BI ワークスペースに次のような影響があります。

- ・ [自由形式] モードから切り替えたときに、BI ワークスペースオブジェクトが特定の順番にないと、複数の列に分散されます。テンプレートを選択すると、そのテンプレートの行と列に合わせて BI ワークスペースオブジェクトが移動します。
- ・ [列] モードから切り替えてテンプレートを選択すると、テンプレートのセルに合わせて BI ワークスペースオブジェクトが移動します。
- ・ 選択した定義済みテンプレートにあるプレースホルダより多くのオブジェクトが存在する場合は、BI ワークスペースの 1 番下に追加のモジュールが付加されます。
- ・ テンプレートに切り替えるか、テンプレート間で切り替えると空のスポットが生じる場合があります。必要に応じて、モジュールを並べ替えてください。

- 3 ブラウザウィンドウを拡大/縮小するときに、BI ワークスペースの行がウィンドウの高さに合わせて調整されるようにするには、[目盛の高さ] を有効にします。
- 4 ブラウザウィンドウのサイズを拡大/縮小するときに、BI ワークスペースの列がウィンドウの幅に合わせて調整されるようにするには、[目盛の幅] を有効にします。

**注**

[目盛の幅] と [目盛の高さ] は、テンプレートモードでのみ使用できます。

- 5 セルを分割する場合は、セルツールバーにある次のいずれかのアイコンをクリックします。

オプション	説明
コンポーネントを左右に分割	このオプションを選択すると、セルが左右に分割されます。
コンポーネントを上下に分割	このオプションを選択すると、セルが上下に分割されます。

**注**

これらのオプションは、[テンプレート] モードでのみ使用できます。

- 6 BI ワークスペースでの作業が終了したら、[保存] をクリックします。

**注**

プロセスの任意の時点で、最終保存操作以降に行った BI ワークスペースの変更を保持しないことにした場合は、保存しないで [終了] をクリックするか、[変更を元に戻す] をクリックします。BI ワークスペースは、最後に保存したバージョンに戻ります。

**関連項目**

- ・ 20 ページの [BI ワークスペースのモジュールライブラリ](#)
- ・ 17 ページの [自由形式レイアウトモードでの BI ワークスペースまたは複合モジュールの操作](#)
- ・ 16 ページの [BI ワークスペースモジュールの表示オプションの設定](#)

## 2.5.9.4 列レイアウトモードでの BI ワークスペースの操作

[列] レイアウトモードでは、BI ワークスペースオブジェクトの長さと幅を調節することで、列を追加、削除、サイズ変更できます。各列をドラッグして、レイアウト内の BI ワークスペースを調節し、列のサイズを変更できます。これにより、BI ワークスペースの見やすさと操作性が改善されます。

[列] レイアウトモードで BI ワークスペースを変更する

- 1 BI ワークスペースの編集モードで、[レイアウト] 一覧から [列] を選択します。
- 2 [列の追加] をクリックして、BI ワークスペースに列を追加します。
- 3 [列の削除] をクリックして、BI ワークスペースから列を削除します。

- 4 BI ワークスペースオブジェクトをクリックし、BI ワークスペースオブジェクトの端をドラッグして、BI ワークスペースレイアウトのサイズを変更します。

#### 関連項目

- ・ 20 ページの[BI ワークスペースのモジュールライブラリ](#)」
- ・ 17 ページの[自由形式レイアウトモードでの BI ワークスペースまたは複合モジュールの操作](#)」
- ・ 16 ページの[BI ワークスペースモジュールの表示オプションの設定](#)」

## 2.5.10 BI ワークスペースのモジュールライブラリ

[モジュールライブラリ] は、BI ワークスペースタブ、BI ワークスペースサブタブ、および複合モジュールのレイアウトにドラッグアンドドロップできる次のモジュールカテゴリを提供します。

- ・ テンプレート

このカテゴリには、カスタマイズしてデータを表示できる、次の定義済みのモジュールテンプレートが含まれます。

- ・ グループ
- ・ ビューア
- ・ ナビゲーション一覧
- ・ テキストモジュール
- ・ Web ページモジュール

- ・ BI 起動パッドモジュール

このカテゴリには、BI 起動パッドのホームページからのモジュールが含まれます。

- ・ マイ受信ボックス
- ・ マイアラート
- ・ マイアプリケーション
- ・ 最近実行したドキュメント
- ・ 最近表示したドキュメント

- ・ パブリックモジュール

このカテゴリには、パブリックフォルダに保存された、BI ワークスペースが含まれます。

- ・ プライベートモジュール

このカテゴリには、[個人用カテゴリ] または (ユーザの) [お気に入り] フォルダで現在使用可能なモジュールのリストが含まれます。

#### 注

[プライベートモジュール] タブは、[お気に入り] や [個人用カテゴリ] に保存された個人用 BI ワークスペースを開いたときのみ表示されます。

- ・ BI ワークスペース

このカテゴリには、すべての既存モジュールが含まれ、ユーザの権限に応じて使用可能な BI ワークスペースのリストを提供します。

別の BI ワークスペースのタブ、サブタブまたはモジュールを、現在開いている BI ワークスペースに追加することができます。

- ドキュメントエクスプローラ

このカテゴリには、BI 起動パッドで使用可能な個人用カテゴリ、パブリックフォルダ、およびカテゴリ内にあるドキュメントを一覧表示するモジュールが含まれます。また、さまざまなフォルダやカテゴリを含むドキュメントエクスプローラページを表示するルートフォルダも含まれます。

### ヒント

BI ワークスペースレイアウトの右上矢印を使用してモジュールライブラリのサイズを拡大または縮小します。モジュールライブラリを有効または無効にするには、BI ワークスペースのツールバーの [モジュールライブラリの表示] をクリックします。また、BI ワークスペースのレイアウトで、モジュールライブラリを固定するか浮動にするかを設定することもできます。

### 注

モジュールライブラリ内の既存のモジュールを、BI ワークスペースツールバーのタブまたはサブタブのレベルにドラッグアンドドロップすることができます。これにより、新しい BI ワークスペースを作成するときに既存のモジュールを再利用できます。

### 関連項目

- 8 ページの [BI ワークスペースの作成](#)
- 35 ページの [コンテンツリンク](#)

## 2.5.10.1 モジュールライブラリの検索

[モジュールライブラリ] に、新しい高度な検索機能が導入されました。検索ボックスには、デフォルトで [コンテンツの検索] というテキストが入力されています。検索ボックスにキーワードを入力して [検索] アイコンをクリックすることで、SAP BusinessObjects Business Intelligence platform 内の任意のドキュメントを検索できます。アイコンをクリックすると検索が開始され、結果が一覧表示されます。検索をキャンセルする場合は、[X] アイコンをクリックすると現在の検索が停止します。[閉じる] アイコンをクリックすると、メインページに戻ります。いずれかのタブをクリックすることによって、結果ページを閉じ、選択したタブを表示することもできます。

検索では、すべてのドキュメントを名前によってフィルタリングし、キーワードに一致しているかどうかを調べます。ただし、メタデータを検索することはできません。

### 注

BI ワークスペース内でモジュールを検索することはできません。モジュールは BI ワークスペース内の InfoObject ではないためです。[モジュールライブラリ] の検索機能は、パブリックフォルダ、テンプレート一覧、BI 起動パッドモジュール一覧、およびドキュメントエクスプローラに保存された BI ワークスペースまたはモジュールでは動作しません。『BI 起動パッドでの検索』の詳細については、『BI 起動パッドユーザガイド』を参照してください。

## 2.6 BI ワークスペースの印刷

印刷オプションでは、BI ワークスペースで動的コンテンツを表示したり印刷できます。特定のドキュメントを印刷のために再ロードする必要がないように、BI ワークスペースビューの現在の状態が表示されます。

### ヒント

多数のオブジェクトを含む BI ワークスペースを印刷する場合は、見やすくするため、プリンタの設定を [横] に変更することをお勧めします。

BI ワークスペースを印刷する

- 1 BI ワークスペースで [印刷] をクリックします。

[印刷プレビュー] パネルが開き、印刷オプションと、印刷される BI ワークスペースタブまたはサブタブのプレビューが表示されます。

- 2 [印刷プレビュー] パネルで、次のオプションのいずれかを選択します。

- ・ 現在のタブ: 現在表示しているタブだけを印刷します。これはデフォルトオプションです。
- ・ すべてのタブ: 現在表示している BI ワークスペース内のすべてのタブおよびサブタブを印刷します。

- 3 [印刷] をクリックします。

各 BI ワークスペースタブが 1 ページに印刷されます。

### 注

BI ワークスペースのコンテンツは 1 ページに収まるように調整されるので、アイテムが小さくなる場合があります。

印刷プレビューを行うと、BI ワークスペースビューがデフォルトビューにリセットされます。たとえば、あるモジュールを含む BI ワークスペースには、デフォルトで 2007 年のスライス California のデータがロードされます。ユーザがスライスを Texas に変更し、スライダを 2005 年に移動したとします。ユーザが [印刷] をクリックすると、2005 年の Texas のデータはロードされず、2007 年の California のデータがロードされます。ユーザは印刷ページ内のスライスが Texas に変更されるように選択し、[印刷] をクリックすることができます。

## 2.7 BI ワークスペースの削除

BI ワークスペースを削除する前に、削除を実行するために必要な権限があることを確認してください。会社用 BI ワークスペースのような、パブリックフォルダに保存された BI ワークスペースには重要な情報が含まれていることがあるため、BI ワークスペースを削除する前に関係者に確認することが重要です。ワークスペースを BI 起動パッドの [ドキュメント] ペインから削除できます。削除する BI ワークスペースがあるパブリックフォルダまたは個人用カテゴリノードを参照する必要があります。ドロップダウンメニューから、[整理] > [削除] をクリックして、選択した BI ワークスペースを削除できます。

## モジュールの使用

### 3.1 概要

モジュールは、BI ワークスペースに表示するデータを挿入するドキュメントです。モジュールは、Web Intelligence のドキュメント、Crystal レポート、Dashboard Design モデル、または、Web ページ、テキスト、または分析用のデータを表示するビューアモジュールなどの非ビジュアライゼーションモジュールを基にして作成することができます。モジュールを作成して BI ワークスペースに追加し、有効かつ効率的な方法でデータを表示できます。

BI ワークスペースでモジュールを作成することができます。モジュールは、BI ワークスペースに組み込まれたオブジェクトとして保存されます。

モジュールによって BI ワークスペースに表示される情報は、データソースで保護されています。

テキストや複合モジュールを変更するには、[ドキュメント] タブからモジュールを開き、モジュールツールバーの [編集] アイコンをクリックします。

#### 関連項目

- ・ 34 ページの[BI ワークスペースでの Web Intelligence レポートの表示方法の設定](#)
- ・ 32 ページの[BI ワークスペースでの Crystal レポートの表示方法の設定](#)

### 3.2 モジュールの種類

#### 3.2.1 BI 起動パッドモジュール

BI ワークスペースは、主要なコンテナとして使用され、BI 起動パッドは、BI ワークスペースタブフレームワークを使用して異なるページを表示します。デフォルトでは、ホームページが開き、最初のタブに表示されます。

共通の機能は、異なるユーザやグループに異なるホームページをカスタマイズして割り当てる機能を提供します。BI ワークスペース管理者は、カスタマイズしたホームページを作成し、これらをカスタマイズ強化機能を通して割り当てることができます。

BI 起動パッドは、モジュールを使用して、ホームページでユーザに関連性のある情報を提供します。これにより、[ドキュメント一覧] の [お気に入り]、[個人用カテゴリ]、または [パブリックフォルダ] をドリルダウンしなくても、必要なビジネス情報を簡単に取得できます。

ホームページに含まれる BI 起動パッドモジュールは、次のとおりです。

- 1 マイ受信ボックス
- 2 最近表示したドキュメント
- 3 最近実行したドキュメント
- 4 マイアプリケーション
- 5 警告

### 3.2.2 複合モジュール

複合モジュールは、タブやサブタブのないミニ BI ワークスペースです。これは、BI ワークスペース作成ワークフローに統合されています。BI 起動パッド から複合モジュールを作成できます。

複合モジュールを使用すると、1 つ以上の任意のモジュールの組み合わせを 1 つのページに作成できます。複合モジュールに含まれるモジュールは個別に編集されます。複合モジュールは、複数の BI ワークスペースタブで、そのコンテンツを繰り返し使用する場合に便利です。

たとえば、会社のロゴ、会社名、および守秘義務を含む、標準タイトルページまたはヘッダを BI ワークスペースに設定する場合、この情報をすべて含む複合モジュールを作成し、パブリックフォルダに保存します。

別の例では、特定のレイアウトで同一のモジュールを再利用する場合、複合モジュールに保存できます。次に、このモジュールに基づく他の複合モジュールを作成できます。ただし、各インスタンスのデータソースはリセットされます。

複合モジュールは、BI ワークスペースのビューアモジュールと連携させることができ、これにより、モジュールのリンクをクリックすると、リンク先は、別のブラウザウィンドウではなく、ビューアページ自体に表示されます。

#### 注

複合モジュールは、Crystal レポートまたは Web Intelligence ドキュメントと同様に、保存された場所から再利用できます。

#### 関連項目

- ・ 26 ページの [ビューアモジュール](#)」
- ・ 17 ページの [自由形式レイアウトモードでの BI ワークスペースまたは複合モジュールの操作](#)」

### 3.2.3 テキストモジュール



テキストモジュールは、BI ワークスペースにテキストブロックを追加する場合に使用します。テキストは、ヘッダ、説明文、HTML、さらには BI ワークスペースビューアで開くことができる OpenModule ハイパーリンクなどに使用できます。BI 起動パッドからテキストモジュールを作成できます。

#### テキストモジュールの設定

HTML コードまたはモジュールで使用するリンクテキストを作成する場合のベストプラクティスは、テキストエディタでコードを作成し、構文をモジュールテキストボックスにコピーして貼り付ける方法です。

このモジュールには次のプロパティを設定できます。

- ・ テキストの種類 (text または html)
- ・ 使用するスタイルシート

#### 関連項目

- ・ 27 ページの[openModule を使用した BI ワークスペース上のビューアモジュールへの情報の送信](#)
- ・ 26 ページの[ビューアモジュール](#)

### 3.2.4 Web ページモジュール

Web ページモジュールは、BI ワークスペースのモジュールライブラリにある [テンプレート] カテゴリで使用できます。このカテゴリを BI ワークスペースで使用すると、Web ページや画像を表示できます。

画像の URL または相対パスのいずれでも使用できます。

### 3.2.5 BI ワークスペースタブの [ナビゲーション一覧] の使用

[ナビゲーション一覧] モジュールをビューアモジュールと一緒に使用すると、アクティブな目次の役割を果たすため、BI ワークスペースタブ上のスペースを最大限に利用できます。[ナビゲーション一覧] モジュール内のコンテンツの表示は、複数のスタイルから選択できます。

- 1 BI ワークスペースの編集モードで、[モジュールライブラリ] をクリックします。
- 2 [テンプレート] カテゴリから、[ナビゲーション一覧] を BI ワークスペースのレイアウト領域にドラッグします。
- 3 [テンプレート] カテゴリから [ビューア] を BI ワークスペースのレイアウト領域にドラッグし、必要に応じて右下隅のサイズ変更アイコンを使用してサイズを変更します。
- 4 [モジュールライブラリ] の任意のカテゴリから [ナビゲーション一覧] までモジュールをドラッグします。

#### 留意点

BI ワークスペースを [列] モードで編集している場合は、Ctrl ボタンを押したまま、マウスを使ってオブジェクトをドラッグし、[ナビゲーション一覧] にドロップします。

[ナビゲーション一覧] 内の項目を選択すると、その項目が [ビューア] に表示されます。

- 5 [ナビゲーション一覧] のタイトルバーにある [編集] アイコンをクリックします。  
[コンテンツの編集] ウィンドウが表示されます。
- 6 [コンテンツ] タブで、以下を行います。
  - ・ 必要に応じて、モジュールを整理するフォルダを作成する。
  - ・ ナビゲーション一覧の項目を整理する。
  - ・ モジュールプロパティを含む、ナビゲーション一覧の項目のプロパティを編集する。
  - ・ ナビゲーション一覧から項目を削除する。
  - ・ 項目の名前を変更する。
- 7 [レイアウト] タブでは、タイトルと説明を入力し、表示オプションとスタイルシートを選択します。
- 8 [ビューア] タブでは、ナビゲーション一覧に表示するビューアを選択します。
- 9 [OK] をクリックして、コンテンツとレイアウトの設定を保存します。

#### 関連項目

- ・ 26 ページの[ビューアモジュール](#)
- ・ 16 ページの[BI ワークスペースモジュールの表示オプションの設定](#)

### 3.2.6 ビューアモジュール

デフォルトでは、モジュールリンクから呼び出されたオブジェクトが開き、BI ワークスペースの全面に広がります。[ビューア] モジュールでは、openModule 変数を使用するモジュールのリンクを通して、[ナビゲーション一覧] から呼び出されたオブジェクトを表示できます。[ビューア] では、モジュールのサイズ変更オプションも使用できます。

旧バージョンの BI ワークスペース では、BI ワークスペースページ当たり 1 つの [ビューア] モジュールしか配置できませんでした。このリリースでは、BI ワークスペースページ当たり複数の [ビューア] モジュールを配置して、より詳細な分析のために、同時に複数のレポートを表示することができます。

たとえば、[ビューア] を含む BI ワークスペースタブでは、レポートを含むモジュールを選択すると、リンク先のモジュールが [ビューア] に表示されます。これにより、レポート自体とリンク先のモジュールを並べて表示できます。

また、Web Intelligence ドキュメントを作成した場合などは、そのドキュメント内でリンクされた項目を選択し、リンクされたドキュメントを [ビューア] に表示できます。

[ビューア] モジュールは、[ナビゲーション一覧] モジュールと一緒に使用すると特に役立ちます。ナビゲーションリストを目次として使用し、ビューアを表示ポートレットとして使用します。そうすることにより、BI ワークスペースのスペースを確保できます。

[モジュールライブラリ] > [テンプレート] から、BI ワークスペースの編集モードで [ビューア] モジュールを検索できます。BI ワークスペースにビューアを追加するには、[ビューア] を BI ワークスペースレイアウト領域までドラッグし、右下隅のサイズ変更アイコンを使用して必要に応じてサイズを変更します。

### 3.2.6.1 openModule を使用した BI ワークスペース上のビューアモジュールへの情報の送信

openModule 構文を使用すると、Central Management Server (CMS) に保存された次のドキュメントから、BI ワークスペース上の [ビューア] モジュールに情報を送信できます。

- ・ Web Intelligence ドキュメント
- ・ Crystal レポート
- ・ テキストモジュール
- ・ Web ページモジュール

サンプル構文:

```
http://<server host>:<server port>/BOE/PerformanceManagement/
jsp/aa-open-inlist.jsp?target="hiddenFrame"&URL=<encoded URL is displayed as target URL
in the viewer>
```

例:

```
http://ildabvm0012:8080/BOE/PerformanceManagement/jsp/
aa-open-inlist.jsp?target="hiddenFrame"&url=http%3a%2f%2fildabvm0012%3a8080
%2fBOE%2fOpenDocument%2fopendoc%2fopenDocument.jsp%3fDocName%3dComp%26sPath
%3d%5bTemp%5d
```

サンプルでキーとなる項目は、aa-open-inlist.jsp および target='hiddenframe' です。

- 1 テキストエディタで、このサンプル構文のコピーと貼り付けを行います。
- 2 {<server host>:<server port>} を Web アプリケーションの保存場所に置き換えて、先頭に「http://」を付けます。  
例: http://<サーバー名>:<ポート番号>/PerformanceManagement/jsp
- 3 変数の後に適切な情報を入力します。
- 4 BI ワークスペースの {URL} を、表示する {URL} の名前に置き換えます。
- 5 次の場所にあるテキストのコピーと貼り付けを行います。
  - ・ Web Intelligence ドキュメントまたは Crystal レポートの場合は、クエリのセルにあるテキストをコピーしてから、レポートを実行します。
  - ・ テキストモジュールの場合は、編集モードに移動して [表示するテキストまたは HTML を入力] テキストボックスにテキストを貼り付け、[html] を選択します。パブリックフォルダにモジュールを保存します。
  - ・ Web ページモジュールの場合は、編集モードに移動して [コンテンツ] タブの [Web ページの URL を入力] テキストボックスにテキストを貼り付け、[OK] をクリックします。[レイアウト] タブの [表示方法] セクションから、[リンクとして表示 (名前だけを表示)] を選択します。
- 6 BI 起動パッドで、[アプリケーション] > [BI ワークスペース] に移動します。
- 7 タイトルを入力し、パブリックフォルダを選択して [OK] をクリックし、BI ワークスペースを保存します。
- 8 [ドキュメント] をクリックし、パブリックフォルダ ノードから BI ワークスペースを選択します。
- 9 BI ワークスペースを選択し、ダブルクリックして開きます。  
BI ワークスペースが開きます。
- 10 [BI ワークスペースの編集] をクリックします。

- 11 [モジュールライブラリ] から [ドキュメントエクスプローラ] タブをクリックしてレポートを探し、BI ワークスペースレイアウトまでドラッグします。
- 12 [モジュールライブラリ] から [テンプレート] タブをクリックし、[ビューア] モジュールを BI ワークスペースレイアウトまでドラッグします。
- 13 [保存] をクリックしてから、[編集モードの終了] をクリックします。  
レポート内でリンクされている項目をクリックすると、ビューアにリンク先が表示されます。

## 3.3 モジュールの作成および設定

### 3.3.1 モジュールの使用

分析および表示する情報やデータの種類に応じてモジュールを編集できます。BI ワークスペースページに組み込まれたモジュールに対し、さまざまな機能を実行できます。

このセクションでは、次の操作方法について説明します。

- ・ モジュールを BI ワークスペースに追加する
- ・ 既存のモジュールに基づいたモジュールを作成する
- ・ BI 起動パッドフォルダにモジュールを保存する
- ・ BI 起動パッドフォルダからモジュールを削除する
- ・ モジュールをドキュメントまたは他のモジュールにリンクする

#### 関連項目

- ・ 31 ページの [モジュールライブラリから BI ワークスペースへのモジュールの追加](#)
- ・ 31 ページの [BI 起動パッドフォルダからのテキストまたは複合モジュールの削除](#)
- ・ 30 ページの [BI 起動パッドフォルダへのテキストまたは複合モジュールの保存](#)
- ・ 35 ページの [モジュールとドキュメントのリンク](#)

#### 3.3.1.1 モジュールの作成

特定のデータのパフォーマンスレベルと傾向変更を視覚化するにはモジュールを作成します。データは、Web Intelligence レポート、Crystal レポートまたは Dashboard Design モデルの単一の個別クエリから取得できます。

モジュールは、次の方法で作成できます。

- ・ BI 起動パッドを経由
- ・ BI ワークスペースでモジュールを直接作成すると、埋め込みオブジェクトとして BI ワークスペースに保存されます。

#### 関連項目

- ・ 29 ページの [BI 起動パッドのホームページからのテキストまたは複合モジュールの作成](#)

### 3.3.1.1.1 BI 起動パッドのホームページからのテキストまたは複合モジュールの作成

BI 起動パッドのホームページから、テキストまたは複合モジュールを直接作成できます。

- 1 BI 起動パッドのホームページで、[アプリケーション] > [モジュール] に移動するか、[マイアプリケーション] > [モジュール] の順にクリックします。

[テキストモジュール] および [複合モジュール] の 2 種類のモジュールが表示されます。

- 2 モジュールの種類を選択します。

選択したモジュールが表示されます。

新しいモジュールが作成されます。

### 3.3.1.1.2 モジュールでの拡張ツールバーの操作

[マイアプリケーション] > [モジュール] または [アプリケーション] > [モジュール] を使用して BI 起動パッドのホームページからモジュールを開くか、パブリックフォルダまたは個人用カテゴリからモジュールを開くと、そのモジュールがページ全体に広がり、拡張ツールバーが表示されます。[編集]、[保存]、[名前を付けて保存] の各オプションが表示される拡張ツールバーは、テキストおよび複合モジュールだけに適用できます。グループ、ビューア、Web ページ、テキスト、およびナビゲーション一覧モジュールなどの、[モジュールライブラリ] の [テンプレート] カテゴリを使用して作成したモジュールには適用できません。これらは、BI ワークスペースレイアウトに組み込まれており、BI ワークスペースはこれらの組み込みモジュールと共に保存されているからです。

#### 注

拡張ツールバーの使用は、モジュールの編集モードで有効または無効にできます。このツールバーが表示されるのは、新しいページの [ドキュメント] からモジュールを開いたときに限られます。

モジュールに対して次の操作を実行できます。

- ・ 編集

このリンクをクリックして、編集モードでモジュールを表示します。

#### 注

Central Management Server に保存されているモジュールを編集すると、そのモジュールは、それが含まれるすべての BI ワークスペースで編集されます。

- ・ 保存

このリンクをクリックして、モジュールを保存します。

**注**

埋め込まれた BI ワークスペースモジュールでは、この操作は実行できません。それらは BI ワークスペースに直接作成されているため、BI ワークスペースが開いている場合にのみ編集され、BI ワークスペースの一部として保存されます。

- ・ 名前を付けて保存

[名前を付けて保存] をクリックして、モジュールを初めて保存するか、モジュールを別の場所に保存します。

### 3.3.1.1.3 テキストまたは複合モジュールの編集

[お気に入り] または [パブリックフォルダ] に保存されているか、BI 起動パッドの [ドキュメント] タブの [個人用カテゴリ] に保存されている、テキストまたは複合モジュールを編集できます。

モジュールを編集する

- 1 モジュールを開いたまま、[編集] をクリックします。  
[コンテンツの編集] ダイアログボックスが表示されます。
- 2 [表示するテキストまたは HTML を入力] フィールドでキーワードまたは説明を入力して [OK] をクリックします。  
BI 起動パッドに保存されたモジュールは、そのタイトルの横に説明が表示されます。説明は省略できます。  
編集されたテキストを含むモジュールが表示されます。
- 3 モジュールを最新表示するには、モジュールツールバーの [最新表示] をクリックします。
- 4 [保存] または [名前を付けて保存] をクリックします。
- 5 [名前を付けて保存] をクリックして、モジュールを保存する場所を検索します。  
モジュールは、[BI 起動パッド] 内の選択したフォルダに保存されます。

### 3.3.1.1.4 BI 起動パッドフォルダへのテキストまたは複合モジュールの保存

テキストおよび複合モジュールは、BI 起動パッドの [ドキュメント] ノードの [お気に入り]、[パブリックフォルダ]、または [個人用カテゴリ] に保存できます。

モジュールを保存するには、次の手順を実行します。

- 1 モジュールを開いたまま、[名前を付けて保存] をクリックします。  
[モジュールの保存] ページが表示されます。
- 2 [ファイル名] フィールドに、モジュールの名前を入力します。
- 3 [モジュール] オプションが [型として保存] フィールドに選択されていることを確認します。  
この手順は省略できます。[型として保存] フィールドは [モジュール] に自動的に設定されています。
- 4 モジュールを保存するフォルダの場所を検索します。

**注**

左側の枠で [フォルダ] をクリックします。[パブリックフォルダ] ノードが表示されます。

- 5 [パブリックフォルダ] ノードを展開して、[パブリックフォルダ] の一覧からフォルダを選択します。

すべての保存されたドキュメントを含む選択されたフォルダが開きます。

- 6 [保存]をクリックします。

モジュールは、[BI 起動パッド] 内の選択したフォルダに保存されます。

### 3.3.1.1.5 BI 起動パッドフォルダからのテキストまたは複合モジュールの削除

パブリックフォルダまたは個人用カテゴリに保存したテキストと複合モジュールを削除することができます。

#### 注

BI ワークスペースで参照されているモジュールを削除すると、ドキュメントがシステム内に存在しないことを示すエラーメッセージが BI ワークスペースに表示されます。

テキストまたは複合モジュールを削除する

- 1 ドキュメントノードから、モジュールを含むフォルダを選択します。
- 2 削除するモジュールを選択し、[整理] > [削除] をクリックします。  
削除するモジュールを右クリックして、[整理] > [削除] を選択することもできます。

### 3.3.1.2 モジュールライブラリから BI ワークスペースへのモジュールの追加

BI ワークスペースは、モジュールを含むタブで構成されています。これらのモジュールは、重要なビジネス情報を提供します。BI ワークスペースには、Central Management Server (CMS) に保存されているモジュールまたは他の BI ワークスペースに埋め込まれているモジュールを追加できます。

- 1 次のいずれかの操作を行います。
  - ・ 既存の BI ワークスペースを開く。
  - ・ 新しい BI ワークスペースを作成する。
  - ・ 既存の BI ワークスペースまたは新しい BI ワークスペースにタブまたはサブタブを作成する。
- 2 [BI ワークスペースの編集] をクリックします。
- 3 [モジュールライブラリ] で、次の手順で追加するモジュールを指定します。
  - ・ CMS からモジュールを挿入する場合は、[ドキュメントエクスプローラ]、[パブリックモジュール] または [プライベートモジュール] の各カテゴリからモジュールを選択します。
  - ・ 新しいモジュールを挿入し、BI ワークスペースでカスタマイズする場合は、[テンプレート] カテゴリからモジュールを選択します。

#### 注

これらのカテゴリから選択され、BI ワークスペース内で設定されたモジュールは、独立した InfoObject として CMS に保存されるのではなく、埋め込みオブジェクトとして BI ワークスペースに保存されます。埋め込みオブジェクトは、開くときに常に最新表示されます。

- 4 必要に応じて、BI ワークスペースでモジュールのサイズ変更および移動を行います。
- 5 BI ワークスペースの編集が終わったら、[保存] > [編集モードの終了] をクリックします。

## 関連項目

- ・ 20 ページの[BI ワークスペースのモジュールライブラリ](#)」

### 3.3.2 モジュールのデータソース

モジュールに合った正しいデータを選択することが重要です。モジュール用のデータは BI 起動パッドによって提供されます。使用可能なデータに必要なモジュールの種類を選択できます。

データは以下から取得できます。

- ・ Excel シートからインポートされたデータを使った Dashboard Design モデル
- ・ Excel シートからインポートされたデータを使用して BI 起動パッドで作成された Web Intelligence レポート
- ・ Crystal Reports を使用して作成された Crystal レポート
- ・ テキストまたは HTML コンテンツを含むテキストモジュール
- ・ URL を含む Web ページモジュール

### 3.3.3 BI ワークスペースでの Crystal レポートの表示方法の設定

BI ワークスペースでは、次のオプションを Crystal レポートに適用できます。

カテゴリ	オプション	レポートへの影響
このレポートで使用するビューアを選択	パーツビューア	レポートの最初の部分しか表示されません。このオプションは、Crystal Reports を使用して設定および定義されたレポートパーツを持つレポートにのみ適用可能です。詳細は、『SAP Crystal Reports 2011 ユーザーズガイド』の『18.2.1.1.1 レポートパーツビューア』の項目を参照してください。
	ページビューア	レポート全体がデフォルトのビューアで表示されます。



カテゴリ	オプション	レポートへの影響
ビューアのズームレベルの選択	%	レポートを 25%、50%、100% の各レベルで表示できます。詳細は、『SAP Crystal Reports 2011 ユーザーズガイド』の『13.3.7 マップのズームインとズームアウト』の項目を参照してください。
	カスタムズームレベル	[カスタムズームレベル]オプションを選択した場合、ズームレベルを指定します。
レポートコンテンツの選択	オンデマンド	レポートを開くとレポートのコンテンツが最新表示されます。
	最新のインスタンス	SAP BusinessObjects Business Intelligence platform Scheduler で実行されたレポートの最新インスタンスのレポートデータが表示されます。
	ユーザ別の最新インスタンス	特定のユーザに対して SAP BusinessObjects Business Intelligence platform Scheduler で実行されたレポートの最新インスタンスのレポートデータが表示されます。
	ユーザ名を入力してください	ユーザ名を入力します。
レポートパーツの初期設定の選択	デフォルトのレポートパーツ	レポートパーツビューアで指定したレポートのデフォルトのレポートが表示されます。
	特定のレポートパーツ ・ オブジェクト名 ・ データコンテキスト	指定したレポートパーツが開きます。 このオプションの情報は、レポートの[レポートオプション]ダイアログボックスにあります。 [オブジェクト名]オプションは、出力先オブジェクトとして使用するレポートオブジェクトの名前です。 [データコンテキスト]オプションを設定するには、出力先オブジェクトで使用するデータコンテキストを入力します。

レポートパーツおよびレポートパーツビューアに関する情報は、Crystal Reports のドキュメンテーションを参照してください。

### 3.3.4 BI ワークスペースでの Web Intelligence レポートの表示方法の設定

BI ワークスペースでの Web Intelligence ドキュメントの表示方法を制御できます。レポートを BI ワークスペースにドラッグアンドドロップした後、レポート全体または一部分の表示を設定できます。

- Web Intelligence ドキュメントの一部を選択するには、その部分を右クリックし、[このレポートパーツを選択]を選択します。[編集] をクリックして、レポートを編集します。
- レポートパーツの選択を解除するには、そのパーツを右クリックして[このレポートパーツを選択解除]を選択します。

レポート全体が表示されます。

次のオプションを設定できます。

オプション	レポートへの影響
レポートの完全表示	レポートがすべてのオプションを含むツールバーとともに表示されます。これらのオプションの詳細は、Web Intelligence のドキュメンテーションを参照してください。
レポートのコンパクト表示	レポートが、ユーザの権限により決定されるオプションとともに表示されます。このオプションを使用すると、レポートの表示スペースを節約できます。ツールバーも表示されます。
特定のレポートパーツの表示	レポートパーツを選択した場合、このオプションがデフォルトで有効になり、パーツの ID がテキストボックスに表示されます。この ID は、別のアプリケーションで使用できます。 <b>注</b> このオプションは、レポートの完全表示では使用できません。
オンデマンド	レポートを開くとレポートのコンテンツが最新表示されます。
最新のインスタンス	SAP BusinessObjects Enterprise Scheduler で実行されたレポートの最新インスタンスのレポートデータが表示されます。
ユーザ別の最新インスタンス	特定のユーザに対して SAP BusinessObjects Enterprise Scheduler で実行されたレポートの最新インスタンスのレポートデータが表示されます。

オプション	レポートへの影響
ユーザ名を入力してください	ユーザ名を入力します。

### 3.3.5 最新のレポートインスタンスの表示

最新のインスタンス表示機能は、クエリの実行を BI ワークスペースユーザが待つ必要のある On Demand レポートを作成する代わりに、過去に開かれて保存されたドキュメントを表示します。

[ドキュメント] ページの [最新のインスタンスの表示] を選択すると、レポートやオンデマンドレポートを実行することなく BI ワークスペースページにレポートを追加できます。過去に開かれたモジュールまたはレポートの最新インスタンスが表示されます。また、Web Intelligence ドキュメントの最新レポートインスタンスも表示できます。

### 3.3.6 モジュールとドキュメントのリンク

モジュールにリンクを追加すると、ユーザは、あるモジュールと別のモジュールの情報、または詳細な分析情報を示すドキュメントにアクセスしたり、これらを共有できます。

Dashboard Design モデル、Web Intelligence ドキュメント、または Crystal レポートを使用するモジュールのリンク

1 つ以上のモジュールをリンクし、そのリンクにプロンプトパラメータを含めることができます。プロンプトパラメータを追加すると、リンク先のモジュールやドキュメントに表示されるデータは、最初のモジュールに表示される値に応じて動的に生成されます。次のものをリンクできます。

- ・ 単一のモジュールとドキュメント
- ・ 複数のモジュールとドキュメント

関連項目

- ・ 35 ページの [コンテンツリンク](#)
- ・ 36 ページの [モジュールコンテンツのリンク](#)

### 3.3.7 コンテンツリンク

Interportlet Communication フレームワークを介して複数のコンポーネントを結合することを、コンテンツリンクといいます。コンテンツリンクを使用することで、BI ワークスペースのコンポーネントは、モジュールのビジュアル表示を通して互いに通信したり、モジュール間のデータをリンクしたりすることができます。コンテンツリンクは、多様なモジュールがデータを相互に使用して、転送するための通信フレームワークです。ソースモジュールとして使用されている、Dashboard Design モデルまたは Web Intelligence ドキュメントにデータを表示して、BI ワークスペースの次のターゲットモジュールのデータをリンクできます。

#### 注

Dashboard Design モジュールと Web Intelligence ドキュメントのみが、コンテンツリンクのソースモジュールとして使用できます。

- ・ ソースモジュールおよびターゲットモジュールとしての Dashboard Design モデル

ターゲットモジュールとして定義された Dashboard Design モデルでは、ソースモジュールから情報を受信し、その Dashboard Design モジュールに定義されている変数への入力として利用します。

- ・ ソースモジュールおよびターゲットモジュールとしての Web Intelligence ドキュメントとターゲットモジュールとしての Crystal レポート

ユーザが、ソースモジュールとして定義された Dashboard Design モデルに対して対話操作を行うと、[BI ワークスペース] タブまたはサブタブ内でターゲットモジュールとして選択された Crystal レポートおよび Web Intelligence ドキュメントのプロンプトに、動的値がコンテンツリンクフレームワークを介して渡されます。

コンテンツリンクを使用することにより、外部インタフェース機能によって詳細なレベルで動的モジュールリンクを設定することができ、送信される情報をより詳細に管理できます。詳細リンクを定義するには、BI ワークスペースのコンテンツリンクレイアウトにソースモジュールおよびターゲットモジュールごとに表示される範囲またはパラメータの一覧を選択します。

#### 注

この新しいコンテンツリンクメソッドにより、ターゲットモジュールとソースモジュール間の古いコンテンツリンクが古い I/O ポートインジケータを介して有効になります。詳細リンクの場合、BI ワークスペースは、ソースレポートとターゲットレポート間で送信されたデータを解釈する必要がないものと判断します。データはターゲットに渡されます。このオプションは、ポータルデータ接続または FS コマンド接続を使用する旧バージョンのリリースで、Interportlet Communication に対応した BI ワークスペースを設計する場合に便利です。

表示されたソース範囲ごとに、対応するターゲット範囲、またはデータのビジュアル表示を送信する範囲を選択できます。ランタイムにソースモジュールでトリガされた所定の範囲に対し、BI ワークスペースは表示された範囲を判定し、その値を取得して、詳細リンクを基にターゲットモジュールに渡します。

コンテンツリンクを使用すると、範囲、プロンプト、リンクのフィルタなどのパラメータのプレビューを簡単に行えます。コンポーネントの一部をリンクまたはリンク解除するようユーザインタフェースを設定できます。リンクされているコンポーネントを識別するためのビジュアルインジケータを使用できます。

BI ワークスペースでコンテンツリンクを設定するには、BI ワークスペースツールバーで [コンテンツリンク] オプションをクリックします。

### 3.3.7.1 モジュールコンテンツのリンク

BI ワークスペースタブまたはサブタブに配置されている Dashboard Design モデル、Web Intelligence ドキュメント、および Crystal レポートの各モジュール間に動的ビジュアル通信を設定できます。実行時には、ソースの Dashboard Design モデルまたは Web Intelligence モジュールが、ターゲットの Web Intelligence および Crystal レポートの各モジュールに情報を送信します。ターゲットでは、ソースモジュールから送信された情報がパラメータ値として使用されます。これらのパラメータ値は、Web Intelligence ドキュメント、または Crystal レポートの場合にはプロンプトの入力として、または Dashboard Design モデルのデータスプレッドシート範囲への入力として使用されます。

### 留意点

ソースとターゲット両方のモジュールとして使用される Dashboard Design モデル (BI ワークスペースではモジュールと呼ばれます) は、Dashboard Design を使用して [外部インタフェース接続] と共に設定する必要があります。Dashboard Design モデルにおけるポータル接続の設定の詳細については、『Dashboard Design および Presentation Design のユーザガイド』を参照してください。

ソースの Dashboard Design または Web Intelligence モジュールとその他のターゲットモジュール間の動的通信を容易にするため、ユーザは外部インタフェース接続コンポーネントを使用する必要があります。[パラメータ] セクションで値を選択して、モジュール間のリンクを開始します。この情報は、ソースモジュールからターゲットモジュールに送信され、プロンプト値として使用されます。

### コンテンツをリンクする

- 1 [モジュールライブラリ] から、ソースの Dashboard Design モジュールを BI ワークスペースレイアウトにドラッグします。
- 2 1 つまたは複数のターゲットモジュールを BI ワークスペースレイアウトにドラッグします。

### 注

コンテンツリンクを設定できるターゲットモジュールは次のとおりです。

- ・ Dashboard Design モデル
- ・ Crystal レポート
- ・ Web Intelligence ドキュメント

- 3 [BI ワークスペースツールバー] で、[コンテンツリンク] をクリックします。[コンテンツリンク] ダイアログボックスが開き、選択可能なソース/ターゲットモジュールおよびパラメータがテーブルに表示されます。

点線と共に表示されるビジュアルリンクは、モジュール間で作成され、可能性のある接続を表示しています。点線は、パラメータマッピングが実際の接続になるよう設定する必要があることを示します。ソース/ターゲットモジュール、および関連するソース/ターゲットパラメータを含むテーブルが表示されます。

- 4 [ソースパラメータ] の一覧からマッピングするパラメータを選択し、[ターゲットパラメータ] の一覧からリンクするモジュールのターゲットパラメータを選択します。

パラメータの組み合わせが完了すると、モジュールがリンクされます。接続に色が付き、実線で表示されます。

### 注

コンテンツリンク接続は、以下のインジケータによって表されます。

- ・ 新しい方法での詳細リンク: 丸いアイコン (パラメータありの接続)
- ・ 旧バージョンの方法での詳細リンク: 直線 (ポータルデータや FS コマンドなどのパラメータなしの接続)
- ・ インポートデータ: 青
- ・ 出力データ: 緑
- ・ リンク/接続: オレンジ

複合モジュールは、旧バージョンと同様の方法で表されます。リンクすることができないモジュールは、コンテンツリンク機能には表示されません。つまり、テキストモジュールでコンテンツリンクを作成することはできません。

- 5 [閉じる] をクリックします。

## より詳しい情報

情報リソース	場所
SAP BusinessObjects 製品情報	<a href="http://www.sap.com">http://www.sap.com</a>
SAP ヘルプ ポータル	<p><a href="http://help.sap.com/businessobjects/">http://help.sap.com/businessobjects/</a> へアクセスし、[SAP BusinessObjects Overview] サイドパネルから [All Products] をクリックします。</p> <p>SAP ヘルプ ポータルでは、すべての SAP BusinessObjects 製品とそのデプロイメントについて扱った最新のドキュメンテーションにアクセスできます。PDF 版またはインストール可能な HTML ライブラリのダウンロードが可能です。</p> <p>一部のガイドは SAP サービス マーケットプレイスに格納されており、SAP ヘルプ ポータルからは入手できません。ヘルプ ポータルのガイド一覧で、そのようなガイドには SAP サービス マーケットプレイスへのリンクが付いています。保守契約を締結されたお客様には、このサイトにアクセスするための正規ユーザー ID が付与されます。ID の入手方法については、お客様担当のカスタマー サポート担当者までお問い合わせください。</p>
SAP サービス マーケットプレイス	<p><a href="http://service.sap.com/bosap-support">http://service.sap.com/bosap-support</a> &gt; ドキュメンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ インストール ガイド: <a href="https://service.sap.com/bosap-instguides">https://service.sap.com/bosap-instguides</a></li> <li>・ リリース ノート: <a href="http://service.sap.com/releasenotes">http://service.sap.com/releasenotes</a></li> </ul> <p>SAP サービス マーケットプレイスには、一部のインストール ガイド、アップグレードおよび移行ガイド、デプロイメント ガイド、リリース ノート、サポート対象プラットフォームに関するドキュメントが格納されています。保守契約を締結されたお客様には、このサイトにアクセスするための正規ユーザー ID が付与されます。ID の入手方法については、お客様担当のカスタマー サポート担当者までお問い合わせください。SAP ヘルプ ポータルから SAP サービス マーケットプレイスにリダイレクトされた場合は、左側のナビゲーション ペインのメニューを使用して、アクセスするドキュメンテーションが含まれているカテゴリを探します。</p>
Docupedia	<p><a href="https://cw.sdn.sap.com/cw/community/docupedia">https://cw.sdn.sap.com/cw/community/docupedia</a></p> <p>Docupedia は追加のドキュメンテーションリソース、協調的なオーサリング環境、および対話型のフィードバックチャネルを提供します。</p>

情報リソース	場所
開発者向けリソース	<a href="https://boc.sdn.sap.com/">https://boc.sdn.sap.com/</a> <a href="https://www.sdn.sap.com/irj/sdn/businessobjects-sdklibrary">https://www.sdn.sap.com/irj/sdn/businessobjects-sdklibrary</a>
SAP Community Network 上の SAP BusinessObjects に関する記事	<a href="https://www.sdn.sap.com/irj/boc/businessobjects-articles">https://www.sdn.sap.com/irj/boc/businessobjects-articles</a> これらの記事は、以前はテクニカル ペーパーという名称でした。
ノート	<a href="https://service.sap.com/notes">https://service.sap.com/notes</a> これらのノートは、以前はナレッジ ベース記事という名称でした。
SAP Community Network 上のフォーラム	<a href="https://www.sdn.sap.com/irj/scn/forums">https://www.sdn.sap.com/irj/scn/forums</a>
トレーニング	<a href="http://www.sap.com/services/education">http://www.sap.com/services/education</a> 弊社では、従来のクラス型の学習から目標を定めた eラーニング セミナーまで、学習ニーズや好みの学習スタイルに合わせたトレーニング パッケージを提供しています。
オンライン カスタマー サポート	<a href="http://service.sap.com/bosap-support">http://service.sap.com/bosap-support</a> SAP サポート ポータルには、カスタマー サポート プログラムとサービスに関する情報が含まれています。また、さまざまなテクニカル情報およびダウンロードへのリンクも用意されています。保守契約を締結されたお客様には、このサイトにアクセスするための正規ユーザー ID が付与されます。ID の入手方法については、お客様担当のカスタマー サポート担当者までお問い合わせください。
コンサルティング	<a href="http://www.sap.com/services/bysubject/businessobjectsconsulting">http://www.sap.com/services/bysubject/businessobjectsconsulting</a> コンサルタントは、初期の分析段階からデプロイメントプロジェクトの実現まで一貫したサポートを提供します。リレーショナル データベースと多次元データベース、接続、データベース設計ツール、カスタマイズされた埋め込みテクノロジーなどのトピックに関する専門的なサポートを行います。



# 索引

## B

BI 起動パッドのモジュール 29  
BI ワークスペース 32  
移動 13  
印刷 22  
カスタマイズ 10, 16  
個人 7  
コピー 13  
コンテンツリンク 36  
削除 14, 22  
作成 8  
自由形式レイアウトモード 17  
スクロール 14  
タブおよびサブタブの追加 12  
テンプレートレイアウトモード 18  
名前の変更 10, 12  
プロパティメニュー 14  
モジュール 23  
モジュール表示オプション 16  
モジュールライブラリ 20  
モジュールライブラリの使用 29  
列レイアウトモード 19

## C

Crystal レポート 32

## D

Dashboard Design モジュール, コンテンツリンク 37

## O

OpenModule 27

## W

Web Intelligence 34  
Web ページモジュール 25

## こ

コピー, 保存 9  
コンテンツリンク 37

## さ

作成 29

## せ

セキュリティ 15

## つ

追加 31

## て

テキストモジュール 24

## な

ナビゲーション一覧、ビューア 25

## へ

編集 28

## も

モジュール 24, 25, 26, 28, 31  
削除 31  
ツールバーの操作 29  
データソース 32  
編集 30  
保存 30  
モジュールの作成 28  
モジュールの表示  
複数のビューア 26  
モジュールライブラリ 20, 28  
モジュール、リンク 35

